

「生活クラブでんき」の産地との交流会&学習会を実施しました！



でんき通信

2024年度
7月号



2024年6月20日（木）、6月21日（金）に遊YOU米の生産者、JA庄内みどりとお米の予約を広げるスタート集会（交流会&学習会）を実施しました。

福祉クラブの共同購入部門を担当する世話焼きワーカーズのメンバーを中心に、各会場、20~30名の組合員の参加がありました。お米の試食はもちろん、生産者のお話のあとにはたくさんの質問、意見、感想等、活発な意見交換をしながら、それぞれの活動の目標を確認する機会となりました。



遊YOU米の生産者として「生活クラブでんき」との関係は…？と思われる方もいるかもしれませんが、遊YOU米の産地（山形県の遊佐町）には、「生活クラブでんき」の発電所である庄内・遊佐太陽光発電所があります。

そして、売電利益の一部（基金）を地域の持続可能な地域社会づくりに活用しています。遊YOU米の生産者では、この基金で太陽光を動力とした除草用機械「アイガモロボ」の導入・活用や、高たんぱく飼料用米の栽培試験等を行っています。

遊YOU米の生産者と「生活クラブでんき」との関係は…？と思われる方もいるかもしれませんが、遊YOU米の産地（山形県の遊佐町）には、「生活クラブでんき」の発電所である庄内・遊佐太陽光発電所があります。

遊YOU米の生産者として「生活クラブでんき」との関係は…？と思われる方もいるかもしれませんが、遊YOU米の産地（山形県の遊佐町）には、「生活クラブでんき」の発電所である庄内・遊佐太陽光発電所があります。

遊YOU米の生産者として「生活クラブでんき」との関係は…？と思われる方もいるかもしれませんが、遊YOU米の産地（山形県の遊佐町）には、「生活クラブでんき」の発電所である庄内・遊佐太陽光発電所があります。

「でんき通信」の発行は不定期となります。

発行：24年7月15日

企画・編集：福祉クラブ協第二組合員活動事業推進部



私たちができる事

お米（共同開発米）を予約して食べることに、そして、「生活クラブでんき」にスイッチングすることは、お米の産地の環境保全、地域振興にもつながります。

遊YOU米 生産者：池田さん
JA庄内みどり：五十嵐さん



また、日本のエネルギー供給（電源構成）の約7割を占める、化石燃料をつかった火力発電はCO2の排出量がとても多いのですが、農業でも農作用機械等でたくさん化石燃料を使用すること、また、肥料からのマイクロプラスチック問題等、農業が環境破壊につながっていることを認識しながら、自然に優しくエコな農業の在り方を日々模索しているそうです。今後、アスパラ等の農作物づくりにおいて、ソーラーシェアリングの可能性から電気の自給もお話伺いました。

現在、福祉クラブでは「生活クラブでんき」へのスイッチングキャンペーン期間中です。この機会に「生活クラブでんき」へスイッチングして、産地を応援しませんか？



*共同開発米基金

共同開発米の安定と推進を図るために、遊佐の生産者とともに基金の積立を行っています。基金は、自然災害への対策、減農薬等、農法開発に使用。遊YOU米等のお米の購入価格に3~13円プラスされています。

アイガモロボット➡

アイガモに見えないアイガモロボット！ロボットの動く範囲等をプログラミングして田んぼの中を動き回っているそうです。たまに違うところに寄り道することもあるようです。（笑）



編集後記

今回来て頂いた生産者の方も「生活クラブでんき」の「再エネCO2%プラン」を契約しているとのこと。「どこの電力会社と契約するかで場合によっては原発を推進することに…」コメントの先を考えたい」との生産者の言葉が印象的でした。

